

広域観光・文化振興の取組

■ 「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

平成24年3月に、関西から日本の元気を取り戻す、観光・文化から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。令和4年3月には、10年間の計画期間が満了するため、令和4年度から令和8年度までを計画期間とする「第2期関西観光・文化振興計画」を策定しました。

「第2期関西観光・文化振興計画」は、2022年度の文化庁の関西移転、2025年の「大阪・関西万博」の開催等を新たなステージに向けた成長への好機と捉え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響や、持続可能な開発目標(SDGs)、DXなどの時代の変化に対応し、関西が一丸となって取り組む国際観光振興及び文化振興の戦略を示すものとしています。この計画に基づき、関西で観光・文化振興に取り組む自治体や関係機関、経済団体等と連携し、「ONE 関西」として、関西が一体となった戦略的な取組を進めています。

なお、令和6年度に、インバウンドの状況などを踏まえて同計画全体を見直すこととしています。

計画に掲げた将来像等

- ・将来像 新時代の文化・観光首都の創造
- ・数値目標 新型コロナウイルス感染症の影響やインバウンド観光の回復時期等が見通せないため、今後計画の見直しを行う際に、指標及び目標値を設定

<将来像実現のための7つの戦略>

1. 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進

文化を活用した「KANSAI」ブランド力の向上と情報発信、文化財・生活文化等の観光資源化、「歴史・伝統・文化」等による観光の推進 など

2. 関西の観光・文化分野における DX の促進

効果的なマーケティングの実施、新技術の活用、交通アクセス等の利便性向上

3. 多様な観光客への対応

生活習慣や文化の違い等に配慮した受入環境整備、多様なニーズへの対応強化

4. 関西文化に親しむ機会の創出

関西文化の振興と連携促進、連携交流による関西文化の一層の向上

5. 関西文化の次世代への保存・継承と発展

関西文化の次世代を担う人材育成、関西の文化活動への支援

6. 「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進

「大阪・関西万博」参加者等に対する広域周遊の促進、「大阪・関西万博」に向けた環境整備等、「大阪・関西万博」のレガシーの活用

7. 推進体制の確立・強化

関西文化を支えるプラットフォームの活用、関西広域の国際観光推進 など

■ 令和5年度予算

「第2期関西観光・文化振興計画」に沿って、特に戦略的に取り組むことについて、当初予算で150,187千円を計上しています。

令和5年度分野予算

- ・ 関西ブランドの向上（42,620千円）
テーマ別観光推進事業、海外観光プロモーションの実施、関西観光本部事業 など
- ・ 基盤整備の推進（26,500千円）
通訳案内士等の人材育成、関西周遊環境の整備
- ・ ジオパークの魅力発信・周遊促進（1,100千円）
国内外に向けた魅力発信、ジオパークを巡る周遊観光促進
- ・ 関西文化の魅力発信（79,557千円）
関西文化の振興と国内外への魅力発信、関西文化の次世代継承、文化庁移転等を契機とした関西文化の振興 など
- ・ 管理費（410千円）

■ 取組状況

1 関西ブランドの向上

世界の観光マーケットにおいては、関西（KANSAI）の知名度はまだまだ低い状況にあり、外国人観光客誘客に向けて、ブランドとしての優位性を確保する必要があります。

このため、構成府県市の個々のイメージではなく、「KANSAI」という一つのブランドで積極的に海外に向けて発信する取組みを展開します。

（1）関西観光・文化振興計画の推進

「第2期関西観光・文化振興計画（令和4年度～令和8年度）」の進捗管理等を行っています。なお、訪日外客数が急激に回復するなど、同計画策定当時とは観光を取り巻く社会情勢が一変していることから、同計画の見直しに向けた準備を進めています。

（2）テーマ別観光推進事業

国内外観光客の関西への来訪動機づくりのため、関西に点在する文化財、食、自然など共通のテーマの観光資源について磨き上げを行う「テーマツーリズム」を推進しております。令和5年度については、「城」への周遊促進を目的としたデジタルスタンプラリーを実施しているほか、「水」をテーマにした観光スポットの掘り起こしを進めています。

（3）海外観光プロモーションの実施

2025年の「大阪・関西万博」への来場と関西各地域への周遊を促すとともに、万博開催に合わせた企業のインセンティブ旅行や視察旅行等に来ていただけるよう、西脇副広域連合長を団長としてタイ（バンコク）を訪問し、政府関係者や旅行関係団体等に対して「トッププロモーション」を関西の関係機関とも連携し実施しました。

また、令和6年1月29日～30日には、三日月広域連合長を団長として韓国への海外観光プロモーションを予定しています。

(4) 関西観光本部事業

「関西観光・文化振興計画」の推進役として、関西広域連合を含む官民が一体となり設立された一般財団法人関西観光本部が、文化観光やスポーツ観光など関西をアピールする様々なプロモーションや、府縣市や地域 DMO 等の参画団体との個性を活かした関西ならではの連携事業を展開しており、その費用の一部を負担しています。

令和5年度は、水際対策の緩和により、訪日外客数が急速に回復してきたことから、関西への誘客に向けて、海外に向けたデジタルプロモーションによる情報発信、関西域内の周遊促進・環境整備などに取り組んでいます。

< 関西観光本部の主な活動 >

- ① 海外の現地情報の収集と分析
- ② 関西の訴求力を高める情報発信
 - ・ 観光情報サイト「The KANSAI Guide」の多言語化（英・仏・スペイン・繁体・簡体）等
 - ・ 海外プロモーションや商談会（デジタルを含む）への参加
 - ・ 国内外のエージェント等を対象としたファムトリップやメディアツアーの実施
 - ・ 訴求力のある海外旅行誌やガイドブックへの情報掲載
- ③ 関西の周遊促進に向けた観光インフラの整備
 - ・ 広域周遊観光ルートの着実な形成・推進
 - ・ 多言語パンフレットなど広域周遊観光ツールの整備 など

(5) web による情報発信

関西観光本部の HP である「The KANSAI Guide」において、関西の文化や食の魅力、広域周遊観光ルート、イベント等の情報を発信しているほか、SNS でも合わせて情報発信しています。

2 基盤整備の推進

観光振興のための人的インフラである全国通訳案内士の登録業務や、関西観光本部と連携して通訳案内士向けの研修会等を行っています。また、関西観光本部において、府縣市や地域 DMO 等と協力し、広域周遊観光ルート「THE EXCITING KANSAI」の形成を進めるなど、関西域内の周遊を促進するための環境整備を進めています。

さらに、令和5年度から、内閣府のデジタル田園都市国家推進交付金（地方創生推進タイプ）を活用し、観光案内所のネットワーク化機能の強化による広域観光案内の仕組みの構築等を行っています。

3 ジオパークの魅力発信・周遊促進

関西広域観光の幅を広げ、外国人観光客の関西各地への周遊を促進するため、関西の優れた地質景観スポットを海外に情報発信しています。

令和5年度は、国内外への情報発信に加え、旅行会社、通訳案内士を対象とした山陰海岸ジオパークエリア（兵庫県）でのファムトリップを8月24日～25日にかけて実施したほか、外国人観光客のジオパークでの周遊を見据えて、ジオパークに通じた人材の育成等を実施します。

4 文化振興の取組

(1) 関西文化の振興と国内外への魅力発信

関西元気文化圏の取組として、関西2府8県4政令市の美術館・博物館・資料館等の文化施設等の協力を得て、常設展等を無料とする「関西文化の日」を実施するとともに、11月を「関西文化月間」と位置づけ、観光情報サイト「The KANSAI Guide」において文化施設等の情報を発信します。

また、令和5年度は、工芸や日本画、建築など、様々な共通テーマで博物館・美術館等を紹介するとともに、周遊コースを掲載したガイドブックを作成し、文化観光を推進します。



(2) 連携交流による関西文化の一層の向上

関西広域連合エリアには、世界文化遺産をはじめ有数の歴史文化遺産が集積しており、その魅力の効果的な発信や、各地域が交流し研鑽することにより関西の文化力を高めるため、文化・観光関係団体と連携し、令和6年2月に徳島県において「文化観光から見た民俗芸能」をテーマに歴史文化遺産フォーラムを開催するなど、世界遺産や文化観光等共通テーマを定めて関西の歴史文化遺産を一体的に広く情報発信します。

(3) 関西文化の次世代継承

文化庁の伝統文化親子教室事業を活用し、小中学生を対象に、「お家で楽しもう!!オンラインde 伝統文化教室」(交野ヶ原・交野節おどり、奈良墨のにぎり墨作り、いけばな、和ろうそくの絵付け、根来塗、阿波和紙の紙すき)を実施するとともに、令和5年度から「会場で学ぼう!リアルde 伝統文化教室」(聞き茶、上方落語、まが玉づくり、能狂言、甲賀流忍術、麒麟獅子舞)を実施し、関西各地の伝統文化を体験・鑑賞できる機会を創出しました。



(4) 産学官連携による関西文化の創造

(公社)関西経済連合会、関西元気文化圏推進協議会等のメンバーで構成する「文化創造・交流プラットフォーム」による多分野交流を通じて、関西から次世代の新しい日本文化を創造し発信する取組を推進します。

令和5年度は、大阪・関西万博に向けた取組と企業と芸術家の共創による文化創造の取組を実施します。

(5) 文化庁移転等を契機とした関西文化の振興

関西文化の情報を一元的に扱うポータルサイトの開発、サイトの利用情報を活用した利用者の好みに応じた文化情報等の提案などにより関西文化の魅力を国内外に発信する

とともに、文化・観光イベント等の機会を活用し、関西を代表する舞台芸能、地域の伝統芸能等の魅力を国内外に広く PR するとともに関西への誘客促進を図ります。

令和5年度は、サイトの文化施設情報や文化を紹介するコンテンツの拡充、文化施設を巡るデジタルパスポートのシステム構築、伝統芸能等の実演や山・鉦・どんじり等の展示・巡行を実施するとともに、大阪・関西万博に向けた文化発信イベントの実施計画を策定します。

